



## 近畿ブロック



発行人：外山 学  
事務局 〒550-0001 大阪府大阪市西区  
土佐堀1-4-8 日栄ビル703A  
あゆみコーポレーション内  
Tel.06-6441-4918 Fax.06-6441-2055  
E-mail jpca@a-youme.jp  
HP primary-care.or.jp/primarycare-kinki/

ニュースレター No.20 (2017.9)

### [代議員会報告] 近畿ブロック支部代議員会 (7月2日)

外山 学 (益田診療所/大阪府門真市)

新大阪駅近くの会場で、48名の代議員が出席して、近畿ブロック支部代議員会が行われました。

(1) 昨年度の事業報告及び決算と監査報告、今年度の事業計画及び予算について、順に協議を行い、いずれも原案(幹事会からの提案)通り承認しました。(※ページ2に続く)

#### 昨年度事業報告

- (1) ニュースレターを4回、実践誌に同封して発行した(6月、9月、12月、H29年3月)。
- (2) 第30回近畿地方会(11月27日、和歌山県立医大紀三井寺キャンパス)に際し、補助を行った。
- (3) 各府県の支部に、補助を行った。
- (4) 「地域支部及びグループ活動にする補助の規定」に基づき、計9件に対して補助を行った。
- (5) 幹事会を開催した(6月19日)。
- (6) 代議員会(府県別代議員会を含む)を2回開催した(7月3日、11月27日)。
- (7) 学会本部との連携、意思疎通に努めた。

#### 今年度事業計画

- (1) ニュースレターを4回、実践誌に同封して発行する(6月、9月、12月、H30年3月)。
- (2) 第31回近畿地方会(11月26日、ピアザ淡海)の円滑な開催に協力し、補助を行う。
- (3) 「地域支部及びグループ活動にする補助の規定」を必要に応じて改訂し、補助を行う。
- (4) ホームページを充実させる。
- (5) 各府県での支部活動の支援を行う。
- (6) 「家庭医療専攻医 合同オリエンテーション」を企画する。
- (7) 幹事会を開催する(6月18日)。
- (8) 代議員会を2回開催する(7月2日、11月26日)。
- (9) 学会本部との連携、意思疎通を更に強化する。

### 近畿ブロック支部(KPCA:Kinki Primary Care Association)について

近畿ブロック(滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山の2府4県)に所属する学会会員で構成され、ブロック代議員会を最高議決機関としています。

ブロック支部会費は必要ありません。日常的な運営は幹事会が行っています。

- ・ **支部長** : 外山学(学会理事)
- ・ **副支部長** : 雨森正記(学会理事)、大島民旗、戸田和夫
- ・ **幹事** : 朝倉健太郎(学会理事)、鈴木富雄(学会理事)、福原俊一(学会理事)  
足立光平、石丸裕康、一瀬直日、岡山雅信、梶山泰男、木戸友幸、小泉俊三、関透、高木幸夫  
武田以知郎、西尾健治、畑伸弘、羽野卓三、松井善典、三ツ浪健一、森村美奈、吉本清己
- ・ **監事** : 大島久明、水野融
- ・ **顧問** : 空地顕一、松村理司





他の主要な協議事項は、「全府県での支部結成を踏まえての近畿地方会の今後の方向性について」及び「専攻医合同オリエンテーションについて」でした。後者については、中村琢弥代議員、高木幸夫幹事からの提案を承認し、5月の合同オリエンテーション、11月の近畿地方会、3月の専攻医ポートフォリオ発表会の3つを、近畿ブロック支部における年間活動の軸に据える方向性が話し合われました。

例年通り、全体会の終了後には、府県ごとに集まっての話し合いが行われました。

### [地方会予告] 第31回近畿地方会 (11月26日 滋賀県大津市)のご案内

雨森正記 (大会長/弓削メディカルクリニック・滋賀家庭医療学センター)

事前登録を開始しております。

多くの会員の皆様のご参加をお待ちしております

日時：11月26日(日) 場所：ピアザ淡海

参加申し込みは以下のHPからのみです。

よろしくお願い致します <http://pc31kinki.umin.jp>

今回は昨今の情勢を考慮し、ランチョンセミナーを行いません。その代わりに、申し込み時にお弁当を申し込んでいただくことは可能です。予めご了承お願い致します。



### [勉強会報告] 吉野さくらカンファレンス (4月14日)

吉本 清巳 / 西尾 健治 (奈良医大総合診療科)

さくらで埋め尽くされた吉野で、300年の歴史を誇る“さこや”旅館において、第1回吉野さくらカンファレンスを奈良医大総合診療科主催で開催しました。元英国家庭医療学会会長の Roger Neighbour 先生、福島県立医大の葛西先生、三重大学の竹村先生という家庭医療で御高名な先生方をお招きして、奈良県で総合診療を行っている先生方、奈良医大総合医療学講座の医局員や初期研修医が集まり、本当に貴重な話を聴かせていただきました。

竹村先生には日本で機能する医療面接と題して、ご自身の研究データも交えて、医療面接についてのご講演を、葛西先生には、海外も視野に入れた福島県における家庭医・総合診療医の育成についてお話頂きました。奈良ではまだまだ取り組めていないことも多くあり、今後の奈良・関西での総合医育成に非常に勉強になる内容でした。

Roger 先生には、1週間奈良に滞在していただき、美しい beauty 桜に満たされた日本の美しい1週間を過ごしていただきながら (ご案内した大阪城も、石舞台も、吉野山も満開でした)、奈良各地で沢山講演をしていただきました。最後を締めくくるさくらカンファレンスでは、「The beauty of general practice」と題して、いろんな人、場所や状況には beauty があり、それを見つけていこうという姿勢が総合診療医には重要という内容で、総合診療医を自負する私たちにとっても感動的なものでした。

このような貴重な講演や交わりの場が、より理想的な総合診療医を奈良県一丸 (all for Nara) となって育成していこうという vision に向けての一步になればと期待しております。

参加された皆様、どうもありがとうございました。



[支部報告] xK project 春の合宿 第2回 ポートフォリオ道場 (5月20・21日)

一瀬直日 (赤穂市民病院/兵庫県赤穂市)

新緑の眩しい中、赤穂研修センターみさきにて、兵庫・近畿一円から専攻医21名(1年目9名、2年目7名、3年目4名、4年目1名)を迎えて指導医陣と総勢35名で合宿形式のポートフォリオ作成ワークショップを開催しました。ポートフォリオ作成に対する苦手意識をなくすためには、研修開始早期にポートフォリオの理解、症例・事例のを見つけ方、指導医による添削を受けながら振り返ることが大事です。



1日目は兵庫県支部長の足立光平先生の挨拶を皮切りに【レクチャー】ポートフォリオとは(森敬良)【ショーケースポートフォリオ実演】終末期ケア(徳田嘉仁)【コアレクチャー】家族志向ケア(石丸直人)、地域包括ケア(中山明子)【シネメデュケーション】(一瀬直日)を行いました。夜はバーベキュー、赤穂温泉、座談会にて交流を深めました。

2日目の【レクチャー】先輩専攻医のよくある悩みとその対策(稲岡雄太)【ポートフォリオ作成】ループリックを活用した指導医による直接添削指導ではGoogle documentを利用し5つのグループに分かれ、考察を具体的に深めることができました。

事後アンケートでも「アドバイスが具体的」「ポートフォリオが1個できた!」「実践的!」「施設を越えて指導し合えるのがよい」など非常に高い評価を得ました。来年も是非御参加を!



[勉強会報告] 関西家庭医療フォーラム2017 (7月29・30日)

竹中 裕昭 (竹中医院/大阪市浪速区)

毎年夏に講師がボランティアで集い、家庭医療のベーシックスキルを低学年学生やコメディカルのみなさまにわかりやすく伝えようとする関西家庭医療ベーシックセミナー。今年は関西家庭医療フォーラムと名称を変更し、大阪歴史博物館にて開催しました。

家庭医の専門性のセッションでは、AI(Artificial Intelligence/人工知能)の特徴、得手不得手を紹介し、AIが得意とするところを家庭医の診療補助に利用し、AIの苦手なところを家庭医の専門性としていくのが妥当ではないかというディスカッションが展開されました。

家庭医と心身医療のセッションでは、BPS(Bio-psycho-social)モデル、PCCM(Patient-centered clinical method)の解説があり、個人の考え方や健康の経験、Resource for livingに基づいて形成される健康観や病の経験を尋ねることが重要だとされ、会場からは日本人はBPFS(Bio-psycho-family-social)モデルで考えた方がよく、「患者の意向、家族の意向、医者都合、世間の都合」を検討することで解決法が見えてくるという発言がありました。

外国人診療のセッションでは、何人であっても人間80%は一緒だからまず患者の表情を見よう!自分から「メンタルブロック」を作らずに片言でもよいからしゃべってみよう!0と1とは大違い!というメッセージをいただきました。

2日目は地域・コミュニティアプローチの8つの課題をひたすらディスカッションというハードなワークショップでしたが、KJ法を用いた充実したディスカッションが行われました

【幹事会企画】プライマリ・ケア医療史の伝承について (3) その2

雨森 正記 (弓削メディカルクリニック/滋賀家庭医療学センター)

祖父が20年あまり前に書き残しておいたものを前回紹介したところ思いの外好評でしたので今回も紹介します。

【薬代 (集金) 雑話】

薬代の支払いは、節季または「きわ」といって年2回でした。殆どの人は何も持たずにみえました。その代わりに、2月と8月には一度に請求書を作らねばならないので、さながら戦争でした。親類筋の者、或いは時には保証人になってくれた中の一人が集金を手伝ってくれたのですが、あるとき「カネが出来たら払いに行くのに・・・」と文句を言われたと聞いて、それからは集金に回ることを一切止め、払いに来てくれる人からだけ貰うことにしました。先述の通り、殆どが貧しい小作農家で、自分の飯米もおぼつかないという家が沢山ありました。寝室は「寝間」といって六畳一間に親子6人から10人が修学旅行の時のように寝ていました。今から思えば随分ひどい生活をしていました。



スクーターでの往診

あるとき、どうしても薬代が重なってきて払えないから、代わりに田圃をとってくれと頼みに来た人がありましたが、農家にとって田圃は命の次に大切なものだからお金が出来たときに払ってくれたらよいと受け取りませんでした。その家も何年か経って子どもが働くようになると全部支払いをすませることが出来たので、あのどん底の時に田圃をとってしまわなくて本当によかったと思いました。(中略)

このように辛い食べる事には不自由はしませんでした。家庭の経済は火の車で、診察に必要なものだけは無理して買っても、余分なものは絶対に買うなど、家内には家計のやりくりで随分苦勞をかけました。ですから保険診療になって月々のお金が入ってくるようになった時には、本当に有難いと思いました。

(註; 祖父は1933 (昭和8) 年に滋賀県伊香郡北畠永村で開業しました。国民健康保険法が施行されたのは1938 (昭和13) 年です)

国民皆保険は当たり前のように私たちは考えています。厳しい財政になって来てはいますが、なんとか継続するように努力しなければいけません。

【支部からのご連絡】 **ブロック支部活動について皆様からのご意見やご提案をお待ちしております!**

(1) **近畿ブロック支部・各府県支部・公認グループ活動のホームページが整備されました!**

<http://www.primary-care.or.jp/primarycare-kinki/> 是非、アクセスしてみてください。

(学会トップページ <http://www.primary-care.or.jp> 左メニュー 支部情報:各支部・研究会連絡先から)

- 1) 府県支部の所属について
- 2) 地域支部・グループ研究活動に対する補助について
- 3) 「専門医・認定医/認定薬剤師 単位申請」及び「ブロック支部補助」申請の手順について
- 4) 府県支部の連絡先について

→上記ホームページをご参照願います。

(2) **大阪府支部からのご案内 「第3回大阪府下専門研修交流会」** \*終了後、懇親会あり

日時: 10月7日 (土) 15時~18時15分 / 場所: あべのメディックス8階 (JR,地下鉄天王寺駅徒歩5分)

参加費: 専攻医 1000円、初期研修医・学生無料、それ以外の医師 3000円、医師以外 2000円

内容: ①ポートフォリオ領域「メンタルヘルス」を意識した外来診療 (関西医大 西山順滋 先生)

②ポートフォリオを深める (専攻医/認定薬剤師の生 PF 意見交換!) ③専門研修プログラム交流

→ 参加申し込み&問い合わせ: 9月30日までに大島 (tami.oshima@gmail.com) へ